

平成 27 年度湘南高等学校 不祥事ゼロプログラム 年度末検証

今年度のゼロプログラムを検証し報告いたします。

1 行動計画と実施状況

① 個人情報保護、情報セキュリティー

ア 目標) 個人情報の流出を未然に防止する。磐石な情報セキュリティー体制を維持する。

イ 行動計画

i) 平成 27 年 4 月 1 日の辞令交付式の後の新転任者オリエンテーションの中で、職員啓発資料等をもとに、職場研修会を実施する。

ii) 平成 27 年 4～6 月中に、所属教職員全員（各課程）を対象に、生徒の個人情報に関する事故不祥事防止会議を行う。また情報管理点検表による点検（含むパソコン点検）を行う。

実施状況

i) について

全日・定時の常勤・臨任・非常勤全員に対して、副校長より、計画通り、本校におけるセキュリティー体制の周知徹底を図り、職場研修会を行った。

ii) について

6 月及び 3 月の事故不祥事防止会議において、USB メモリーの管理・使用方法、採点のための解答用紙等の個人情報の持ち出しの際の手順の徹底等について、改めて指示を行った。6 月には併せて、攻撃型メールに関する理解を深めた。年度末には管理職が再度、管理の徹底についての注意を行った。また、7 月の事故不祥事防止会議においても、県立学校重点課題総点検の説明の中で、個人情報保護に関して徹底した。

② わいせつ・セクハラ行為

ア 目標) セクハラ、スクールセクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。

イ 行動計画

○職員啓発資料等をもとに、所属教職員全員（各課程）を対象にした職場研修会を実施する。

実施状況

5 月の事故不祥事防止会議において、わいせつ・スクールセクハラ等の行為について、資料を用いて、相手がセクシュアルハラスメントと感じる行為がセクハラであることを中心に、細心の注意喚起を行い、発生防止を徹底した。

③ 会計事務等の適正執行

ア 目標) 公費、私費会計事故の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

i) 平成 27 年 4～6 月中に、所属教職員全員（各課程）を対象にした私費・学校徴収金の会計処理に関する事故不祥事防止会議を実施する。

ii) 平成 27 年 10 月中に、私費会計についての中間監査を行う。

iii) 年度末に、私費会計担当者に対して平成 27 年度私費会計の運用、帳簿、通帳管理の確認を行う。

実施状況

i) について

9月の事故不祥事防止会議において、資料を用いながら、本校における会計処理の注意点と事故防止の徹底について研修を行った。

ii) について

中間監査をPTA 監査委員との調整の結果を受けて、10月に実施した。

iii) について

学校徴収金運営協議会は毎月1回、3月まで開催し、それにあわせて私費会計担当者が私費会計の運用、帳簿、通帳管理の確認を行った。なお、7月の事故不祥事防止会議においても、県立学校重点課題総点検の説明の中で、私費会計の厳正な処理に関して徹底した。

④ 体罰、不適切指導

ア 目標) 体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

i) 職員啓発資料等をもとに、所属教職員全員（各課程）を対象にした事故不祥事防止会議を実施する。

ii) 平成27年11月に実施する所属職員全員を対象にした人権研修会を実施するなかで取り上げる。

実施状況

i) について

2月の事故不祥事防止会議において、資料を用いて、体罰は絶対に許されないこと、未然防止の徹底について研修を行った。

ii) について

11月に実施した人権研修会において、性的マイノリティに関する理解を深めることをはじめ、子どもの人権を守ることの重要性についての認識を深めるとともに、人権意識の向上が不適切な指導の防止の徹底につながることを確認した。

⑤ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

ア 目標) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。

イ 行動計画

i) 日頃からの成績処理及び進路関係書類の作成等に係る業務のチェック体制を守り、事務室全般業務、窓口業務等、教員については、成績処理、書類作成全般をはじめとして教育活動全般においてチェック体制を徹底する。

ii) 毎日の打ち合わせの際に、必要に応じた注意喚起を行う。

iii) 職員啓発資料等をもとに、所属教職員全員（各課程）を対象にした事故不祥事防止会議を実施する。

実施状況

i) について

日々の業務における注意喚起はもちろん、各月の事故不祥事防止会議において、事故の例を出しながら周知し、事故防止の徹底を図った。

ii) について

始業前の全体打ち合わせにおいて、新聞報道された事故例等を紹介しながら、事故、不祥事防止についての意識喚起を効果的に実施した。

iii) について

11月の事故不祥事防止会議において、資料を用いて、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故不祥事の徹底的な防止について研修を行った。

⑥ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止

ア 目標)交通事故の発生の未然防止、酒酔い、酒気帯び運転の未然防止とともに、法令遵守を徹底する。

イ 行動計画

職員啓発資料等をもとに、所属教職員全員（各課程）を対象にした職場研修会を実施する。

実施状況

12月の事故不祥事防止会議において、交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転の絶対禁止について、資料を用いて研修を行った。朝の打ち合わせでもできる限り注意喚起を行い、ちょっとした不注意、油断が事故につながる怖さを周知した。

⑦ 法令遵守意識の向上

ア 目標)職員の法令遵守意識を向上させ、公務外非行を未然に防止する。

イ 行動計画

職員啓発資料をもとに、不祥事防止会議や打ち合わせ時等で公務外非行の事例を示し研修を行う。

実施状況

10月の事故不祥事防止会議において、資料を用いて、公務時はもとより、公務外における法令遵守についての意識を高めることの重要性について注意を喚起した。さらに校長は朝の打ち合わせの訓示の中で適宜取り上げ注意を促した。

⑧ 入学者選抜に係る事故防止

ア 目標)入学者選抜における事故を防止する。

イ 行動計画

- i) 職員啓発資料をもとに、所属教職員全員（各課程）を対象にした事故不祥事防止会議を実施する。
- ii) 平成28年1～2月中に、入学者選抜業務に関する職場研修会（各課程）を実施する。

実施状況

i) について

1月の事故不祥事防止会議において、資料を用いて、共通選抜（全・定）、分割選抜・2次募集（定）を通じて、受検者のために、絶対に事故を起こさないことを徹底した。

ii) について

2月に、全定とともに、研修会を実施し、入学者選抜業務の流れを全員がしっかりと理解し、事故防止を徹底する意識を共有した。

⑨ 湘南高校「不祥事」全体対応

ア 目標)全ての「不祥事防止」に対して職員の自覚を促し、「不祥事」を未然に防止する。

イ 行動計画

- i) P T A運営委員会の開催に併せて、保護者に本校の不祥事ゼロプログラムを提示し、意見等を聴取する検討会を実施する。
- ii) 平成27年12月中に、再度一斉点検チェックリストによる点検を行う。
- iii) 平成28年3月末までに、全職員に対して平成27年度の湘南高校における『不祥事ゼロプログラム』の取り組みに関する検証を行う。
- iv) 平成27年度中に外部講師による事故不祥事防止のための研修会を実施する。

実施状況

i) について

保護者代表を含む学校評議員会で不祥事ゼロプログラムを示し、活動を報告した。
また、PTA運営委員会終了後、学校徴収金運営協議会を定期的に開催し、会計処理の適正な運用を実行、確認した。

ii) について

7月に県立学校重点課題総点検を実施し、事故不祥事に係る事項の自己点検、学校としての点検を実施した。

iii) iv) について

すべて予定通り実行できた。

2. 上記の活動に対する校長の意見

- ・不祥事ゼロプログラムの年間計画に従って、一部日程の変更があったものの、毎月、事故不祥事防止に係わる会議または研修を効果的に実施することができた。
- ・事故不祥事案が他校、他県で発生したときには、一般的な注意にとどまらず、発生の原因が、自らの日々の職務の中にあるのではないかと、常に自問・検証するよう注意喚起した。
- ・27年度は7月に「県立学校重点課題総点検」を実施し、職員一人ひとりの事故不祥事防止意識の向上に大きな効果があった。
- ・個別の面接を行いながら、公務員としての自覚を喚起するとともに、当事者意識を強く意識させ、事故不祥事防止に真剣に取り組ませよう努めた。
- ・今後も引き続き、絶対に事故不祥事は起こさない、起こさせないという強い決意のもと、未然防止の徹底に取り組んで行く。